

ふれあい 広場



地域の力に 総務大臣表彰

NPO法人飛組の皆さん、栄えある「地域づくり総務大臣表彰」を受けられおめでとうございます。防犯活動をはじめ環境美化や「災害時の救援等に関する事業」など、地域に密着したさまざまな活動を積極的に展開され、明るく住み良い地域づくりに多大な貢献をいただいています。

このたびの総務大臣表彰、さらに日本損害保険協会の防犯特別賞を受賞されたことも、地道な取り組みが高く評価されたものであり、深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、市長として3年目の今年は、新市建設計画を着実に推進し、旧リヴィンや広瀬川などの活用を図りながら、中心市街地の活性化に力を注ぎます。また、平成20年開催の全国都市緑化ぐんまフェアへの準備を本格化させ、さらに、懸案の中核市移行についても協議を重ねます。

皆さんには、受賞を励みに、安全で安心な、活力ある地域づくりの模範団体として、より積極的な活動を展開いただき、今後とも、前橋市政の発展にお力添えをお願いします。(NPO法人飛組「地域づくり総務大臣表彰」受賞祝賀会、3月9日、商工会議所)

まえばし シティフラッシュ



自慢の芸に笑いの渦が

三月十一日、グリーンドーム前橋で「お笑いライブ」が行われました。応募した十九組三十三人が自慢の芸を披露。会場内は大きな笑いの渦に包まれました。コンテストで選ばれた入賞者へは、温泉宿泊券などのプレゼントも。



広報紙読みやすく

今号から広報「まえばし」をリニューアルしました。文字を大きくし1行の文字数を14字から13字に。また、1段の行数も36行から35行に減らし読みやすくしました。これからも内容の充実を図り、親しまれる広報紙を目指します。

800人が元気に行進

市民球場で3月12日、市少年野球連盟総会開幕式が行われました。42チーム800人の少年少女が元気に入場行進。朝倉少年野球部主将の中根憲人さんが「夢と希望を胸に戦います」と力強く宣誓し、野球シーズン到来を告げました。



下川淵地区

住民の厄払う 御獅子様

下阿内町で三月十五日、「御獅子様」が行われました。これは、江戸時代から続く伝統行事。獅子は現在ないものの、昔から日にちも方法も変えずに行っています。前日に地域の代表が、太田市世良田町にある八坂神社に行き、当日は神社で受けた御札と御幣を持ち、各家庭を回って厄払い。「御獅子様」を知らせる太鼓の音に、玄關から顔を出して待っている人もいます。お払い後には米を奉納し、すぐに桶は米でいっぱい。この町の繁栄を象徴しているようでした。



消防団車庫の 完成祝い式典

永明地区



三月十二日、女屋町で消防団十三分団二部車庫の落成祝いが行われました。これまで小島田町にあった施設の老朽化に伴い、移転し新築。今後は同町周辺で発生するあらゆる災害の地域防災拠点として機能していきます。高木市長をはじめ多くの関係者が見守る中、団員が規律正しく車庫前に整列。気持ちも新たに一致団結し、士気の高揚を図りました。同分団長の柳岡良宏さんは、「震災対策用の機材も充実し、地域の守りが一層強固になりました」と話していました。



アートコンペライブで銀賞
亀井 千鶴子さん(54)
広瀬町三丁目

現代人をユーモア交えて

三月五日に開かれた「前橋アートコンペライブ2006」で、出品した人形が銀賞に選ばれた。これは全国公募で寄られた新鋭芸術家の作品をライブ形式で審査するイベント

ト。審査員と出品者たちとのやり取りが見もので、観客を大いに沸かせる。「二年ぶり二回目の応募で初めて一次予選を通過、本選考のステージに立ちました。銀賞に選ばれ、手芸と見られがちな人形を芸術として認めたいことに感謝しています。それに、素晴らしい作品の数々と審査員のユニークなトークを十分に楽しむことができました」

「自分の顔に似せる難しさ、モデルのいない難しさ、それぞれ苦心しました。木綿や絹和紙を使って人の温かみを出しながら、現代に生きる人の姿をユーモアを交えて人形で表現したいんです」

人形との出会いは十年前。テレビで見た人形に感動し、その作家の弟子が開く宇都宮市の教室へ毎週通う。「車で片道三時間の道のりですが、景色の移り変わりを楽しみながらのドライブ。苦にはなりませんよ」

自分の人形は葬式に使いたいと、明るく笑った。